

No.  
**120**

北里大学病院ニューズレター  
「窓」

# Mado



診療科紹介 乳腺・甲状腺外科

女性の11人に  
1人がなるがん

## 乳がんについて知ってほしいこと

診療科紹介

乳腺・  
甲状腺外科

女性の11人に1人がなるがん

## 乳がんについて知ってほしいこと

北里大学病院 乳腺・甲状腺外科  
科長

仙石 紀彦

## 11人に1人が乳がんになる時代

女性に一番多いがんである乳がん。現在は統計で見ると日本の女性の9.3%、約11人に1人が乳がんになります。患者数は増え続けており、来年2020年には10人に1人が乳がんになるといわれています。

しかし必要以上に怖がる必要はありません。乳がんは検診で発見することのできるがんであり、一般的に予後が良いとされています。早期に発見して適切な治療をすることが大切です。

## 乳がん検診＋自己検診が重要

乳がんは余程のことがない限り、あっという間にがんが進行してしまうことはありません。多くは3、4年で1～2cmくらいになるので、2年に1度検診をしていれば、だいたいステージ1である2cm以下で発見できます。

乳がん診療ガイドラインでは、2年に1度マンモグラフィと超音波診断での検診を推奨しています。一度に両方の検診をするのは費用的に難しい場合は、マンモグラフィと超音波を交互でも構わないとされています。

それに加えて、自己検診をしてみましょう。入浴時など自分で乳房を観察し、凹んでいるなど変形はないか、しこりがないか、乳首からの分泌などはないかなどを定期的にチェックしてください。実際に当科外来でも、検診でがんが見つかって受診する方よりも、自分で乳房の異変に気づき、受診する方が多い傾向にあります。

重要なことは気にすること。乳がんは体の表面からわかるがんですので、乳がんのピークである40代以降の方は、ぜひ自分の乳房の変化について気にしてみてください。



## 遺伝性乳がんと家族性乳がん

数年前に有名なハリウッド女優が遺伝性乳がんの予防のために乳房を切除したことが話題になりました。当院でも行っていますが、現在日本でも保険適応外の先進治療として予防的乳房切除が可能です。

日本では乳がん患者の約5～7%が遺伝性乳がんと言われています。遺伝性の乳がんだと大体6割の確率で乳がんになるとされています。冒頭に述べたように全女性の約10%が乳がんになるのと比べると、とても高い確率ということが分かると思います。もし遺伝性乳がんとわかって、確率からいうと将来4割はがんにならないので、予防的乳房切除はせずに、定期的に検診を受けて、がんになったらその時に治療をしていくという考える方がほとんどです。

最近はテレビでも「ゲノム医療」など大きく取り上げていることもあり、遺伝子検査の注目も高まっています。しかしながら倫理的観点、費用面などから現在保険適応で検査が受けられるのは、乳がんの転移・再発の方に限られています。

また、遺伝性乳がんと混同しがちなのが家族性乳がんです。乳がんは女性の食生活をはじめとする生活習慣に依存しています。例えば肥満、初潮が遅いなどの傾向が似ていて、遺伝子の異常はないけれど、

家族に乳がんが多いというのが家族性乳がん。乳がん患者の約5～10%くらいになります。

母や祖母が乳がんで自分も乳がんになると遺伝子検査を希望する患者さんも多いですが、遺伝性乳がんを疑う特徴がない場合は、遺伝性と家族性の違いをしっかりお伝えしています。

### 標準治療はベストな治療

皆さまは、乳がんの「標準治療」と聞いてどのような治療と思われますか？ 標準というからには「並」、他にも「上」や「特上」の治療があるのかもしれないと思われるかもしれませんが。医療における標準治療というのは、保険適応で医学的に効果があると証明された現在ベスト、最良な治療のことをいいます。「並」の治療ではありません。

プラスαとして大学病院などの大きな研究機関では、保険適応外の先進治療や新しい治療や薬の治験を受けることができます。それ以外は日本中どここの医療機関でも治療の内容は大きく変わらないということをぜひ知っておいてください。

また、インターネットなどで「がんが治る」「がんが消えた」などうたわれている保険適応外の治療などにも注意が必要です。こういったものは、効果があるから保険適応外で高額の治療なのではなく、医学的に効果が証明されていないので、保険が適応されていないの、保険が適応されていないのです。気になる、試してみたいと思われる方は、必ず主治医に相談ください。

### 乳がん予後と再発について

がんの統計には5年生存率、10年生存率というものがあります。乳がんでは5年91.1%、10年79.7%。この差が少ないほど再発せずのがんが完治しているということになります。数字からわかるように、乳がんは残念ながらまったく再発がないということはありません。



毎週行っているカンファレンス。  
治療方針などチームで話し合い共有しています

ん。統計は10年までしかありませんが、10年以上経ってから再発する方がいることがわかってきました。

予後が良いといわれている乳がんですが、再発すると完治は難しいのが現状です。ですが短期間にかんが進行することはないので、できるだけ元気で良い状態を保つことが再発治療の最大の原則になります。生活の質を担保しながら治療をし、患者さま、ご家族にとって残された時間を満足のいくものにできるかを一番に考えて治療をしています。



乳腺・甲状腺外科 HP

### 地域の先生方へ

当科(乳腺領域)では、主に乳がんの患者さまを受け入れております。原則として乳腺炎は診療範囲外となっております。ご紹介の際には、必ずご相談ください。

また、乳がんは集学的治療ができる専門施設で治療すべき疾患と考えています。乳がんの患者さまがいる際は一度ご相談の上、患者さまがどこで治療をするのか決定いただければと思います。施設によってはエビデンスに基づかない治療をしている施設があります。当科でも協力は惜しまないので、連携をもって患者さまを診ていければと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

### Profile / 仙石 紀彦 (せんごくのりひこ)

- 1993年9月北里大学医学部 卒業。1994年5月北里大学病院外科学 研修医、1996年4月 同 助手(病棟医)、東芝林間病院外科、国立相模原病院外科、上尾中央総合病院外科への出向を経て、2010年4月 北里大学医学部外科学 助教(診療講師)。2017年2月より同 講師。北里大学病院 乳腺・甲状腺外科 科長(外来主任)
- 日本外科学会(外科指導医・外科専門医)、日本乳癌学会(指導医・専門医)、日本がん治療認定医機構(がん治療認定医)、検診マンモグラフィ読影認定医

# 2019年度 がん診療に携わる医師のための 第1回緩和ケア研修会 開催のご案内

**日 時** 2019年12月7日 (土) 8:30 ~ 16:15

**場 所** 北里大学 臨床教育研究棟 (IPE棟)

**対 象** がん診療に携わる医師・初期研修医・病棟医 その他メディカルスタッフ  
※ 申込前に、eラーニングによる事前受講が必須となります。

**参加費用** 無 料

**内 容** ワークショップ・ロールプレイング等



11月初旬より、募集開始予定です。詳細は当院HPをご確認下さい。

<http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/concern/kanwa/index.html>

## 外来受診および入院に関する相談について (医療機関専用窓口)

病院・診療所からの外来受診および入院に関する相談の専用窓口を、トータルサポートセンターの看護師が担当いたします。ご相談につきましては、下記へご連絡いただきますようお願いいたします。

### 電話番号

☎ **042-778-8971** (直通)

### 対応時間

月～金 8時30分～17時  
土 (第1・3・5) 8時30分～12時

※上記以外の日時は病院の代表番号へご連絡ください。

☎ **042-778-8111** (代表)

### 〈お願い〉

- 外来受診および入院に関する相談の際は、診療科をご指定いただきますようお願いいたします。
- 複数診療科の調整を要する場合等は、返答までに時間をいただく場合がございますので、ご理解の程お願いいたします。
- 当院にて診断や治療方針が確定し、医学的にも他院での診療が可能と考えられる患者様につきましては、ご紹介いただいた医療機関、あるいは近隣の病院、診療所等で治療、療養の継続をお願いしております。

## 医療機関専用のご予約について

医療機関専用電話 (担当) トータルサポートセンター・事務

☎ **042-778-9988**

受付  
時間

月～金 午前8時30分～午後4時30分  
土 (第1・3・5) 午前8時30分～午前11時